

早稲田大学 大学院教育学研究科 出題意図および解答例

年 度	2027年度
試 験 日	2026年9月19日
研 究 科	教育学研究科
課 程	修士課程
専攻・コース等	英語教育専攻
入 試 制 度	特別選考制度
試 験 科 目	小論文
出題意図及び解答例（解答のポイント）	
【注意事項】 ※公開する解答例には、別解がある場合があります。 ※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWebサイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。 ※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp	
■出題意図	
英語科教育、英語学、イギリス文学、アメリカ文学のうち、志望する研究指導領域に関して、基礎的な知識および論理的に思考し、説明できる力を評価・判定する。	
■解答例（解答のポイント）	
【問題Ⅰ】～【問題ⅩⅤ】 特定の解答に誘導すると知識・思考力等を測ることが困難になるため、解答例は公開しない。 解答のポイント/評価のポイント 【問題Ⅰ】 ・理論・概念を正確に理解し、それを授業案に一貫して反映しつつ、学習者の学びをどう高め、なぜ有効かを論理的に示しているかを評価した。 【問題Ⅱ】 ・教室における評価に関する実践的課題について、言語テストの概念やそれに関連する先行研究に照らしながら、具体的かつ論理的に自身の考えを論じることができているかどうかを評価した。 【問題Ⅲ】 1.認知負荷理論等の枠組みに基づき情報過多の弊害を分析した上で、注意の集中と記憶定着を促す具体的な授業改善策を提示できているかを評価した。 2.アイデンティティや主体性と学習継続性の関連を理論的に考察し、生徒を自律的な言語使用者へと導く実践的介入策を提示できているかを評価した。 【問題Ⅳ】 ・L2ライティングにおけるL1使用の意義と限界を理解し、特定のライティング課題、学習者のレベル、指導文脈に即して、L1使用を促す、または控える条件と理由を具体的かつ論理的に英語で論じる力を評価した。 【問題Ⅴ】 ・Motivation をどのように測るのか、特に教員が生徒のmotivation を評価する際に、どのような方法があるのかに関して、深く議論できているかを評価した。	

【問題Ⅵ】

- ・実践知と理論知の往還に基づく研究を計画・実施するための資質を評価することを目的として、多言語教育における基礎的な概念の学習者への影響を問うた。

【問題Ⅶ】

- ・言語に関する主張について、自らの立場を明確にし、具体的な根拠を示しながら論理的に論述する力を問う。多角的な観点から主張を検討し、説得力のある英語の議論を展開することがポイントである。

【問題Ⅷ】

- ・言語に関する主張について、自らの立場を明確にし、具体的な根拠を示しながら論理的に論述する力を問う。多角的な観点から主張を検討し、説得力のある英語の議論を展開することがポイントである。

【問題Ⅸ】

- ・歴史的背景を理解していることが望ましいが、文献学と言語学で問題解決に対するアプローチにどのような違いがあるかが明確に示されているか否かを中心に評価した。

【問題Ⅹ】

- ・イギリス文学の研究に必須となる文学史的知識を正しく説明し、（さらには必要に応じ、自身の研究予定内容と結びつけて）文学的現象を叙述できるかを評価した。

【問題Ⅺ】

- 1.イギリス文学に関連した項目について、それらの語句が意味する概念や内容等を正しく理解し、選択した項目に関して適切に解説できているかどうかを評価した。
- 2.知識の正確さ、論理的記述力、根拠に基づいて自身の見解を展開する能力を評価した。

【問題Ⅻ】

- 1.story と narrative の違いを踏まえて自分の立場を明確にし、その理由を具体的な作品に即して論じていること、また作品の特徴と文学的価値を結びつけて説明できていることを評価した。
- 2.小説の時代性と普遍性の関係について、具体的な作品に即して、自分なりの考察が示されていることを重視した。

【問題Ⅼ】

- ・王政復古期および18世紀イギリス文学に関する文学史的知識を正しく理解できているか、またその知識を用いて当該期の文学的展開を具体的な作品への言及を伴いながら英語で適切に論じられているかを評価した。

【問題Ⅽ】

- ・アメリカ文学や文化をめぐる作品についての知識があるか、さらに作品の意義を、美学的要素（スタイル、文体、ジャンルなど）および社会的背景と関連づけながら分析できているかを評価した。

【問題Ⅾ】

- 1.アメリカ建国から20世紀初頭にかけての文学史上の重要な概念や作品について、基本的な知識とその文学史的意義を理解しているかを確認する。
- 2.「古典」文学の成立や選定そのものを批判的に捉え、アメリカ文学史を主体的・多角的に考察する力を評価する。

以 上